



私たちは様々な知恵を活かして生活しています。昔から引き継がれているもの、新しい時代に生まれたものなど、なるほどと思えるものもたくさんあります。まだ知らない知恵に出会ってみませんか？

『ことわざの知恵』

岩波書店辞典編集部／編 岩波書店

ことわざが表現しようとしている内容は、生活から生まれた「人生の知恵」と言えるでしょう。それは、必ずしも品格の備わった知恵ばかりではありません。むしろ庶民が世間を渡るうえでの、励ましや慰めとしての側面も大きいものがあります。

本書では、160にも及ぶ「ことわざ」をテーマごとにいくつかの章に分けて解説しています。なかには「目から鱗が落ちる」ような新発見があるかもしれません。ことばの面白さを気軽にお楽しみください。

『日本人の「食」、その知恵としきたり』

永山久夫／監修 海竜社

和食は季節と連動し「旬」の食が育まれてきました。その和食がユネスコの「世界無形文化遺産」に登録され、世界の注目が集まっています。

現代の食の始まりや食事の作法、伝統行事の食や人生の節目の食など、「うまい・ヘルシー・長生き」の三拍子そろった日本の「食」の素晴らしさと、それにまつわる「知恵」と「しきたり」を紹介しています。和食の奥深さを感じる一冊です。

『大地震を生き抜く48の知恵』

震災対策研究会／編著 国崎信江／監修 イースト・プレス

日本は世界でも有数の地震大国です。2011年3月11日の東日本大震災は未曾有の被害をもたらし、これまでの防災における常識をいくつも覆してしまいました。

本書は、大地震が襲ってきたときにどう対処したらいいのか、普段からイザというときのために、どう備えておけばいいのかをイラストと図解で解説しています。過去の大災害に学び、自分自身や家族の命と財産を守るための知恵は身につけておきたいものです。

『おばあちゃんからの暮らしの知恵』

NPO 法人 おばあちゃんの知恵袋の会／監修 高橋書店

代々伝わる昔ながらの暮らしの知恵には、毎日を快適に過ごすためのアイデアがいっぱいです。ところが身近に教えてくれる人がいなかったり、実際のやり方を見る機会がなかったりして、生活に取り入れる方法がわからない方も多いのではないのでしょうか。

今の時代だからこそ必要とされる、節約の知恵や環境を守るヒントを教えてください。試してみたいものです。

こんな本もあります

☆『春夏秋冬江戸っ子の知恵』 竹内誠／著 小学館

☆『かしこく暮らす100の知恵』 阿部絢子／著 文化出版局

☆『ちょっと高くても、コッチ！一食品選び・おとなの知恵』
小薮浩二郎／著 三五館

☆『日本の知恵ぐすりを暮らしにー身近な食材でからだ調うー』
瀬戸内和美／著 東邦出版

編集・発行：さいたま市立与野図書館 （令和4年2月）

さいたま市中央区下落合 5-11-11 TEL 048-853-7816 FAX 048-857-1946